

## NYマーケットレポート (2015年3月30日)

NY市場では、序盤に発表された米経済指標がまちまちの結果となったことから、序盤のドルはやや主要通貨に対して上値の重い動きとなった。一方で、欧米の主要株価が大きく上昇したことを受けて、投資家のリスク志向の動きが強まり、比較的安全資産とされる円を売る動きが優勢となった。円は大半の主要通貨に対して軟調な動きとなった。ただ、ユーロは、ギリシャ首相が返済条件を緩める必要があると発言したことなどを受けて、ギリシャ支援に関する欧州当局との合意に対する先行き不透明感が高まったことから、ユーロは主要通貨に対して軟調な動きが続いた。

### 2015/3/30 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	119.70	119.72	119.13
EUR/JPY	129.64	129.90	129.30
GBP/JPY	177.54	177.76	176.76
AUD/JPY	92.01	92.37	91.94
EUR/USD	1.0831	1.0896	1.0820

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	119.93	119.63
EUR/JPY	130.16	129.61
GBP/JPY	177.98	177.15
AUD/JPY	92.19	91.75
EUR/USD	1.0871	1.0825

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19411.40	+125.77
ハンセン指数	24855.12	+368.92
上海総合	3786.57	+95.47
韓国総合指数	2030.04	+10.24
豪ASX200	5846.09	-73.85
インドSENSEX指数	27975.86	+517.22
シンガポールST指数	3454.26	+4.16

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6891.43	+36.41
仏CAC40	5083.52	+49.46
独DAX	12086.01	+217.68
ST欧州600	399.84	+4.30
西IBX35指数	11529.10	+101.70
伊FTSE MIB指数	23260.57	+276.34
南ア 全株指数	52455.36	+645.20

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	120.14	120.23	119.83
EUR/JPY	130.02	130.18	129.77
GBP/JPY	177.75	178.20	176.99
AUD/JPY	91.81	91.99	91.64
NZD/JPY	90.06	90.35	89.97
EUR/USD	1.0824	1.0864	1.0810
AUD/USD	0.7642	0.7668	0.7633

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17976.31	+263.65
S&P500	2086.24	+25.22
NASDAQ	4947.44	+56.22
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14908.39	+95.97
🇧🇷 ボルサ指数	473922.83	+284.86
🇲🇽 ボベスパ指数	51243.45	+1148.79

### 3/31 経済指標スケジュール

09:00	【豪】2月HIA新築住宅販売
14:00	【日】2月住宅着工戸数
14:00	【日】2月建設工事受注・2月住宅着工戸数
15:00	【独】2月小売売上高指数
15:45	【仏】2月生産者物価指数
15:45	【仏】2月消費者支出
16:00	【トルコ】4Q GDP
16:00	【トルコ】2月貿易収支
16:55	【独】3月失業率・3月失業者数
17:30	【英】4Q総合事業投資
17:30	【英】4Q GDP(前年比)
17:30	【英】4Q経常収支
17:30	【英】1月サービス業指数
18:00	【欧】2月失業率
18:00	【欧】3月消費者物価指数
21:00	【南ア】2月貿易収支
21:30	【カナダ】1月GDP
22:00	【米】1月S&P/ケース・シラー[総合20]
22:00	【米】3月ミルウォーキー購買部協会景気指数
22:45	【米】3月シカゴ購買部協会景気指数
23:00	【米】3月消費者信頼感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1185.30	-15.40
NY 原油	48.68	-0.19
CMEコーン	394.50	+3.50
CBOT 大豆	967.75	+0.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.58%	0.59%
3年債	0.92%	0.93%
5年債	1.41%	1.43%
7年債	1.75%	1.76%
10年債	1.96%	1.95%
30年債	2.55%	2.53%

### 3/31 主要会議・講演・その他予定

- ・リッチモンド連銀総裁 講演
- ・カンザスシティ連銀総裁 講演
- ・クリーブランド連銀総裁 討論会

(出所:SBILM)

## NY 市場レポート

21:00

ドル/円 119.91 ユーロ/円 129.92 ユーロ/ドル 1.0837

21:00

欧州株式市場

米主要株	株価	前日比
英 FT100	6864.13	+9.11
仏 CAC40	5081.71	+47.65
独 DAX	12026.83	+158.50

(出所: SBILM)

21:00

◀ 経済指標の結果 ▶

3月独消費者物価指数(前月比) 0.5% (予想 0.4%・前回 0.9%)  
 3月独消費者物価指数(前年比) 0.3% (予想 0.3%・前回 0.1%)  
 3月独EU基準消費者物価指数(前月比) 0.5% (予想 0.5%・前回 1.0%)  
 3月独EU基準消費者物価指数(前年比) 0.1% (予想 0.1%・前回 -0.1%)

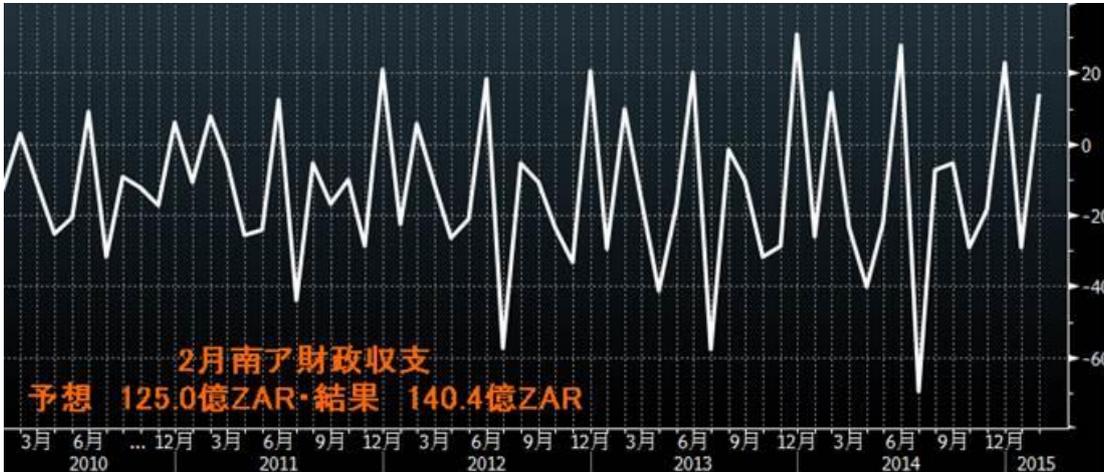


(出所: ブルームバーグ)

21 : 12

◀ 経済指標の結果 ▶

2月南ア財政収支 140.4億 ZAR (予想 125.0億 ZAR・前回 -290.0億 ZAR)



(出所:ブルームバーグ)

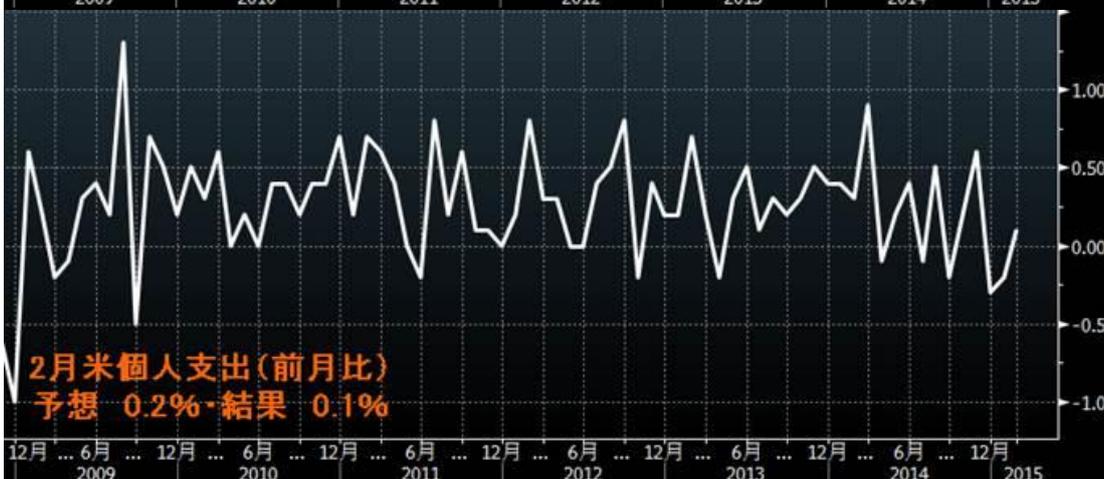
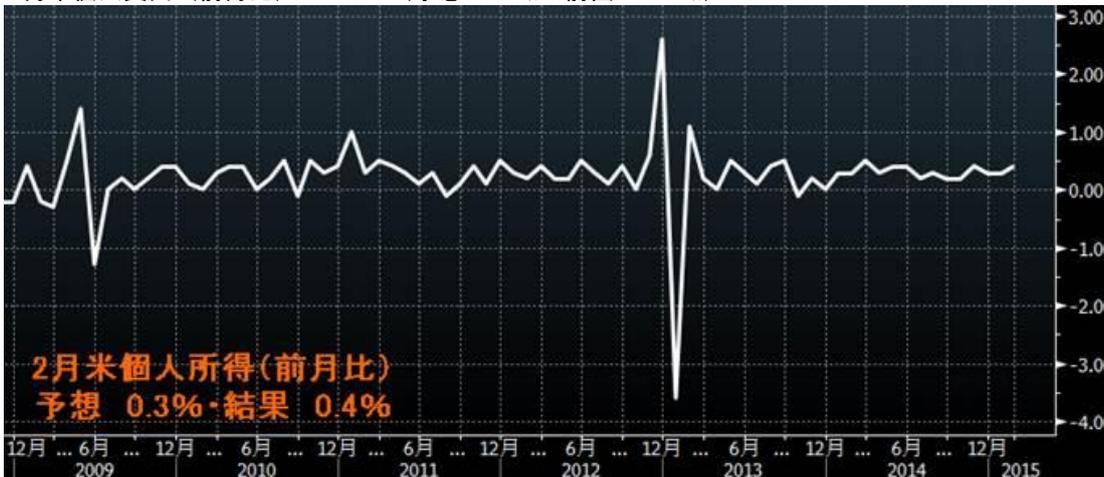
21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

2月米個人所得(前月比) 0.4% (予想 0.3%・前回 0.4%)

前回発表の0.3%から0.4%に修正

2月米個人支出(前月比) 0.1% (予想 0.2%・前回 -0.2%)

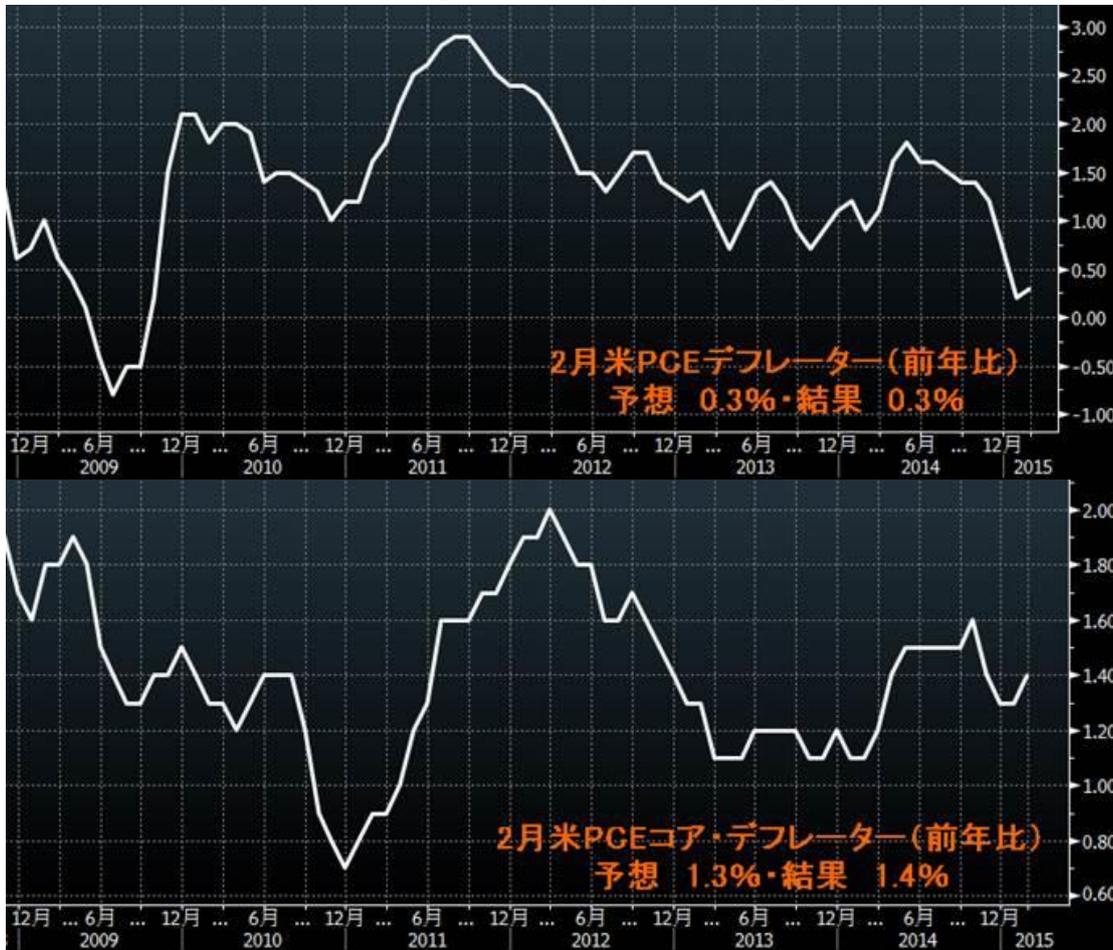


(出所:ブルームバーグ)

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

2月米PCEデフレーター(前年比) 0.3% (予想 0.3%・前回 0.2%)  
 2月米PCEコア・デフレーター(前月比) 0.1% (予想 0.1%・前回 0.1%)  
 2月米PCEコア・デフレーター(前年比) 1.4% (予想 1.3%・前回 1.3%)



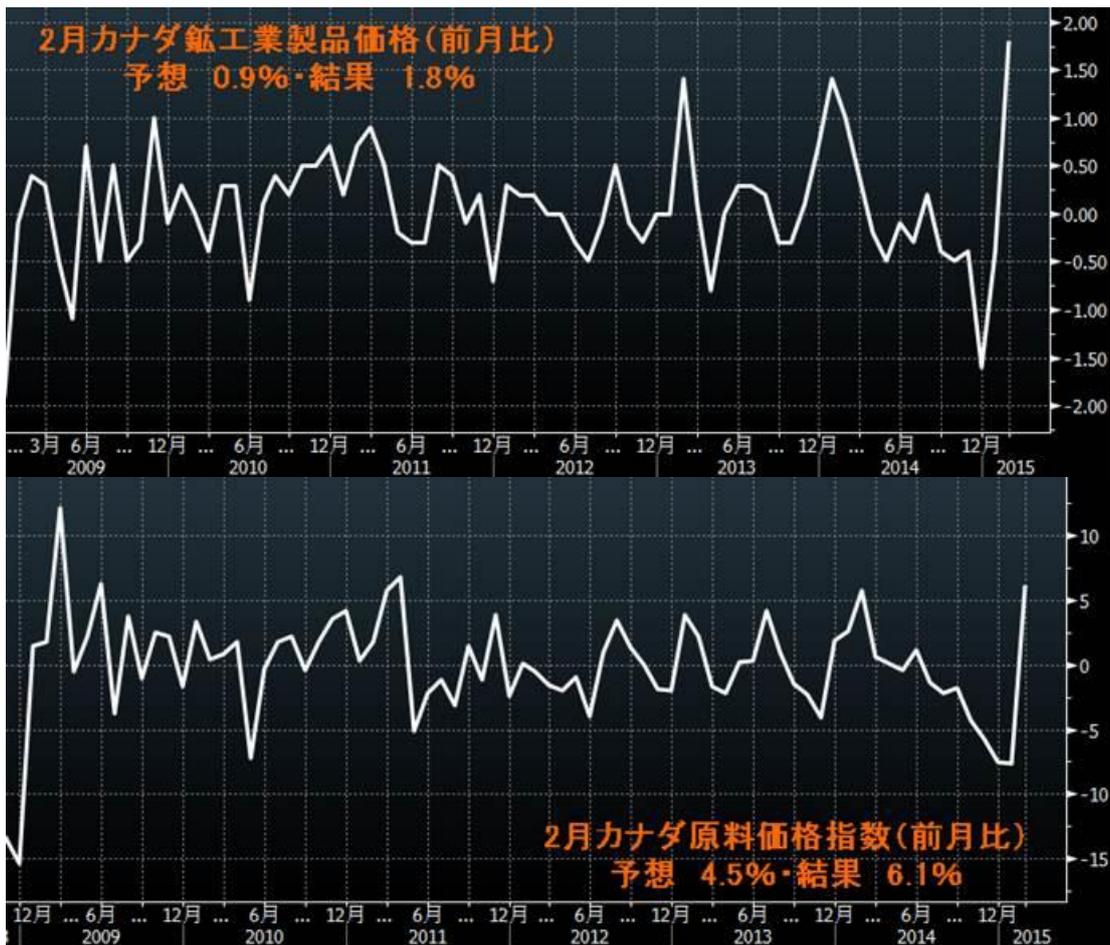
(出所:ブルームバーグ)

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

2月カナダ鉱工業製品価格(前月比) 1.8% (予想 0.9%・前回 -0.3%)  
 前回発表の-0.4%から-0.3%に修正

2月カナダ原料価格指数(前月比) 6.1% (予想 4.5%・前回 -7.8%)  
 前回発表の-7.7%から-7.8%に修正



(出所:ブルームバーグ)

**指標結果データ**

《米個人所得・支出》

	2月	1月	12月	11月	10月	9月
個人所得	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.2
賃金・給与	0.3	0.6	0.1	0.8	0.3	0.3
可処分所得	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.1
個人消費支出	0.1	-0.2	-0.2	0.4	0.4	0.2
個人貯蓄率	5.8	5.5	5.0	4.5	4.5	4.6

21:50

ギリシャ改革リストで、年内15億ユーロの資産売却益含見込む～関係者

22:33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17902.76	+190.10
ナスダック	4927.65	+36.43

(出所:SBILM)

22 : 35

◀ 要人発言 ▶

ルー米財務長官

- ・「米国は中国の為替の動きから目を離せない」
- ・「アジアインフラ投資銀は、基準の必要性への懸念続く」

23 : 00

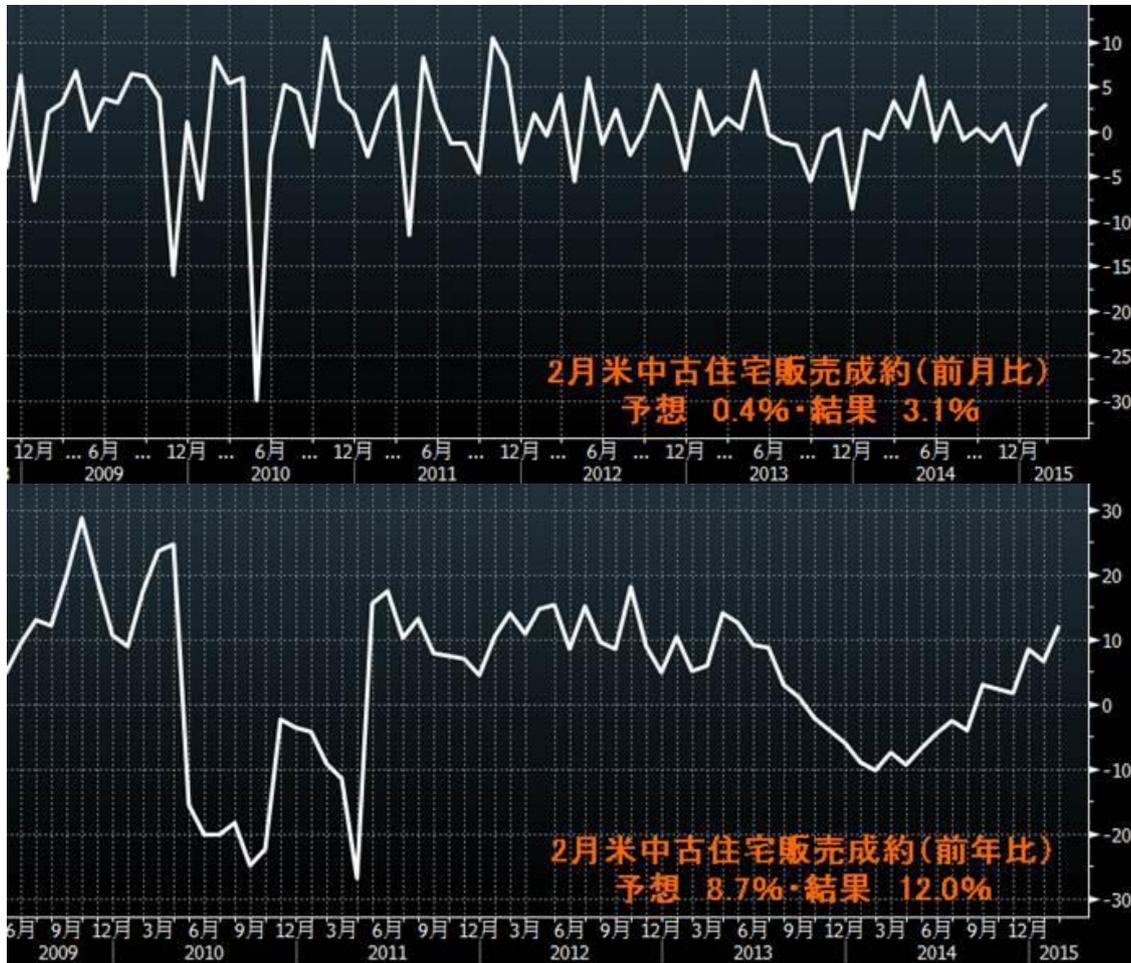
◀ 経済指標の結果 ▶

2月米中古住宅販売成約（前月比） 3.1%（予想 0.4%・前回 1.2%）

前回発表の 1.7%から 1.2%に修正

2月米中古住宅販売成約（前年比） 12.0%（予想 8.7%・前回 6.1%）

前回発表の 6.5%から 6.1%に修正

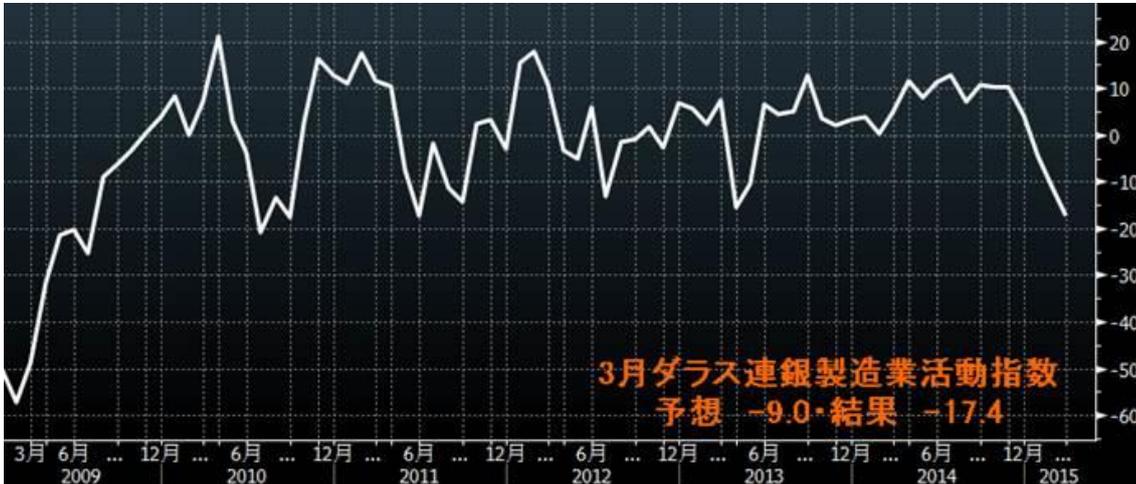


(出所:ブルームバーグ)

23 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

3月ダラス連銀製造業活動指数 -17.4 (予想 -9.0・前回 -11.2)



(出所:ブルームバーグ)

23 : 35

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、米医療保険大手の M&A 発表を受けて、米企業の再編が進み収益力が強化されるとの思惑から、幅広い銘柄に買いが入り、主要株価は堅調な動きとなっている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前週末比で 276 ドル高まで上昇している。

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 2月の米個人所得・消費統計では、個人消費支出が前月比+0.1%となり、3ヵ月ぶりのプラスとなった。一方、個人所得は+0.4%と市場予想の+0.3%を上回る伸びとなった。

①消費では、食品やエネルギーなどの非耐久財が+0.4%と4ヵ月ぶりにプラスに転じたほか、サービスも+0.2%となった。一方、自動車や家具などの耐久財は-1.0%となった。

②税金の支払いなどを除いた可処分所得は+0.4%、貯蓄率は5.8%と前月から0.3ポイント上昇し、2012年12月以来の高い水準となった。

③FRBが物価安定の目安とする個人消費支出(PCE)物価指数は、前年同月比+0.3%となり、長期的に達成すべき目標とする2%を引き続き下回った。また、変動の激しい食品とエネルギーを除いたPCEコア物価指数は、前年同月比+1.4%となった。

④米個人消費は昨年末から足踏みが続いていたがやや持ち直したものの、伸びは小さく、消費より貯蓄が優先されるなど、消費者の購買意欲が抑制されている可能性が指摘されている。また、米北東部の寒波も影響したとみられる。

(2) NAR(全米不動産業者協会)が発表した2月の中古住宅販売成約指数は、前月比+3.1%の106.9(2001年=100)となり、2013年6月以来の高い水準となった。前年同月比は+12.0%となった。1月の指数は当初発表の104.2から103.7に下方修正された。

①地域別では、中西部が11.6%、西部は+6.6%、北東部は-2.3%、南部は+1.4%となった。

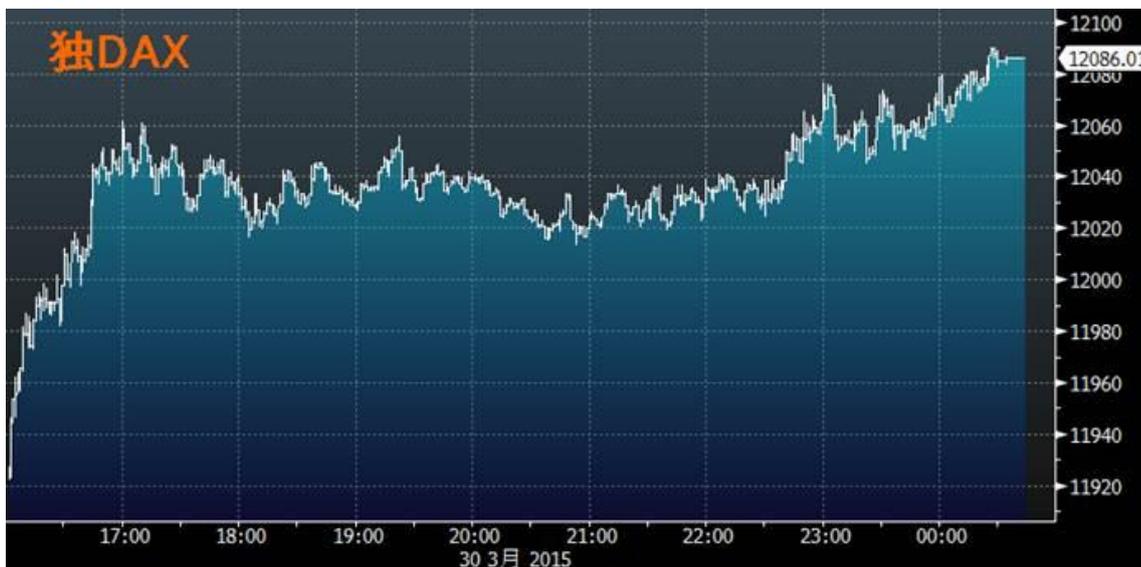
②販売成約は通常1-2ヵ月以内に本契約に移行するため、NARの販売成約指数は中古住宅市場の先行指数とされる。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6891.43	+36.41
仏 CAC40	5083.52	+49.46
独 DAX	12086.01	+217.68
ストック欧州 600 指数	399.84	+4.30
ユーロファースト 300 指数	1596.31	+18.56
スペイン IBEX35 指数	11529.10	+101.70
イタリア FTSE MIB 指数	23260.57	+276.34
南ア アフリカ全株指数	52455.36	+645.20

(出所: SBILM)

### 《欧州株式市場》

欧州株式市場は、週明けでやや新規材料に乏しい中、ECBによる量的金融緩和策への期待などで買いが優勢となり、主要株価はほぼ全面高となった。



(出所: ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 17980.68 (+268.02)、S&P500 2082.35 (+21.33) ナスダック 4933.36 (+42.14)

### 《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、2月の米個人消費支出が市場予想を下回ったことが買い材料となる一方、米国株の大幅上昇で投資家のリスク志向が強まったことから安全資産とされる米国債を売る動きもみられてもみ合いの展開が続いている。

午前の利回りは、30年債が2.55%（前週末2.53%）、10年債が1.96%（1.96%）、7年債が1.75%（1.76%）、5年債が1.41%（1.43%）、3年債が0.90%（0.93%）、2年債が0.57%（0.60%）。

## ◀欧州のポイント▶

①英中銀は、国内銀行のストレステスト（健全性審査）について、今年は大手7行を対象に実施すると明らかにした。中国経済の急激な減速やユーロ圏の崩壊など世界経済をめぐる悪化シナリオを想定、衝撃に対する各行の耐久性を審査する。カーニー中銀総裁は「主要な外的ショックに対する英銀行システムの弾力性審査を通じて、ぜい弱性に関する特定能力の一層の向上や、広範なストレスに対する各行の万全の備えを確実なものにしたい」と述べた。審査結果は12月に公表される予定。

②欧州委員会が発表した3月のユーロ圏景況感指数は4ヵ月連続で上昇し、2011年7月以来約4年ぶりの高水準となった。ユーロ安や原油安が回復を後押ししていることを示した。景況感指数は103.9で、前月比+1.6ポイント、業況指数は0.23で、+0.14ポイントとなった。低インフレに対処するため、ECBが量的緩和を始め、ユーロが対ドルで下落、域内輸出業者の追い風となっている。消費者インフレ期待は、2ヵ月連続で上昇、小売・製造業者が価格上昇、需要見通しを再び引き上げた。これらも、ECBの政策が好影響を及ぼしつつあることを示している。

③ドイツ連邦統計局が発表した3月の消費者物価指数速報値は、EU基準で前年同月比+0.1%、前月比で+0.5%となった。ドイツのインフレ率は1月に-0.5%まで低下した後、2月は-0.1%となっていたが、3ヵ月ぶりにプラスとなった。ECBが量的緩和を開始したほか、ドイツの景気が力強さを増していることが背景にある。

3:40

NY金は、中心限月が前週末比15.40ドル安の1オンス=1185.30ドルで取引を終了した。

4:30

NY原油は、中心限月が前週末比0.19ドル安1バレル=48.68ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1185.30	-15.40
NY 原油	48.68	-0.19

(出所:SBILM)

## ◀ NY金市場 ▶

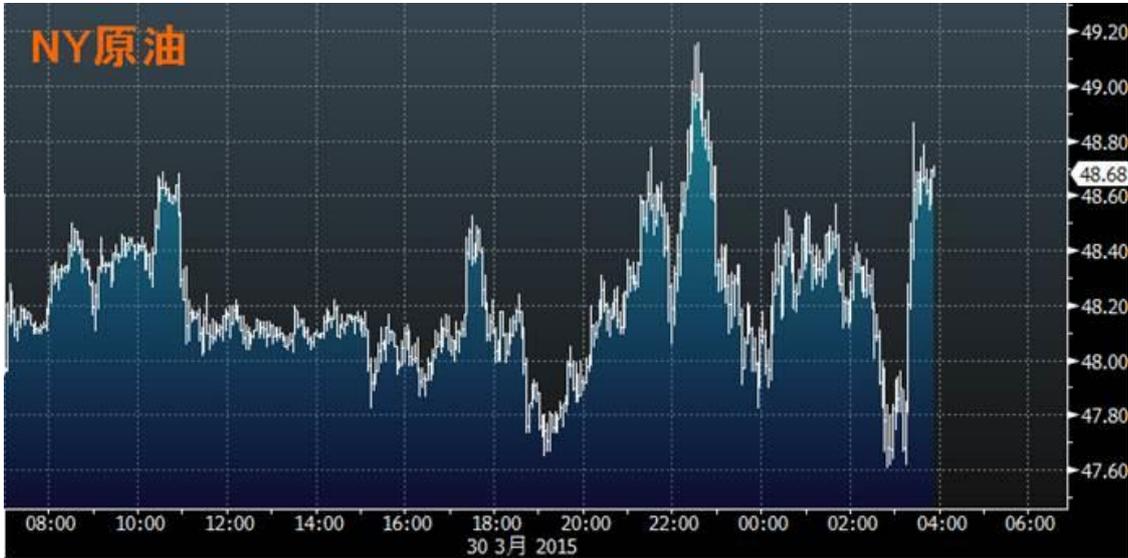
NY金は、ドルが主要通貨に対して上昇したことから、ドルの代替資産とされる金を売る動きが先行した。また、米国株が大幅上昇となり、投資家のリスク志向が強まったことも圧迫要因となった。



(出所:ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、イラン核問題をめぐる欧米など6カ国との交渉が進展しているとの見方から対イラン制裁解除が意識され、売りが優勢となった。また、ドルが主要通貨に対して上昇し、ドル建て原油に割高感が出たことも圧迫材料となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17976.31	363.65	18008.64	17727.48
S&P500 種	2086.24	+25.22	2088.97	2064.11
ナスダック	4947.44	+56.22	4948.46	4921.12

(出所:SBILM)

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、米医療保険大手のM&A発表を受けて、米企業の再編が進み収益力が強化されるとの思惑から、幅広い銘柄に買いが入り、主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前週末比で295ドル高まで上昇し、18000ドル台に回復する場面もあった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	120.14	120.23	119.83
EUR/JPY	130.02	130.18	129.77
GBP/JPY	177.75	178.20	176.99
AUD/JPY	91.81	91.99	91.64
NZD/JPY	90.06	90.35	89.97
EUR/USD	1.0824	1.0864	1.0810
AUD/USD	0.7642	0.7668	0.7633

(出所: SBILM)

### 《外国為替市場》

外国為替市場は、欧米の主要株価が大きく上昇する動きとなったことを受けて、安全資産とされる円を売る動きが優勢となり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、米雇用統計などを控えて積極的な売買が手控えられており、やや値動きは限定的となった。ユーロは、ギリシャの金融支援の先行き不透明感を背景に、ドルなどに対して軟調な動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

---

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。